吉田学園医療歯科専門学校

授業科目		口腔解剖学実	習 II	担当教員					佐々木 英世				
(科目ID)		d29106		(実務経験)	歯科技工所で歯科技工士として主に歯冠修復 実務経験) 有 ■ 無 □ CAD/CAMなどに従事し、当該科目の教育を行 別紙1参照								
対象年次・学期	2年•通	殖 年		必修·選択区分	必修				単位数	2単位			
授業形態	実習			授業回数(1回90分)				30	時間数	60時間			
授業目的	各歯に	おける形態の特徴を	とらえ、再現できる。										
到達目標	歯科技	も エの基礎である歯の	形態を特徴をとらえ	ながら、それぞれ30分以内で	で彫刻することができる。								
テキスト・ 参考図書等	最新菌	朝科技工士教本 口腔・	顎顔面解剖学 (医菌	南薬出版)歯の解剖 歯のデ [・]	ッサン	を歯型	彫刻(値	斯科技工 等	学実習トレーニング)	カービングガイド			
		評価方法	評価割合(%)					評価基	準				
	試験		100%										
評価方法・	レポー	· k	%										
評価基準	小テス		%	実技試験による外形、溝、表	長面性	状、寸流	まなどし	こよって評	価する。				
	提出物	7	%										
	その他	1	%										
履修上の 留意事項	教本、	教本、カービングガイドなどによって進める。提出期日は厳守すること。目標に到達できるよう自分でペース配分などを考えながら受講すること。											
	回数		履修主題						履修内容				
	1	上顎中切歯 彫刻			デッ	サン1本	(10分)	左右2本	彫刻(80分)				
	2	上顎側切歯 彫刻			デッ	サン1本	(10分)	左右2本	:彫刻(80分)				
	3	上顎犬歯 彫刻			デッ	サン1本	(10分)	左右2本	彫刻(80分)				
	4	上顎第一小臼歯 彫	刻		デッ	サン1本	(10分)	左右2本	彫刻(80分)				
	5	上顎第二小臼歯 彫	刻		デッ	サン1本	(10分)	左右2本	彫刻(80分)				
	6	上顎第一大臼歯 彫	刻		デッ	サン1本	(10分)	左右2本	彫刻(80分)				
履修主題•	7	上顎第二大臼歯 彫	刻		デッ	サン1本	(10分)	左右2本	彫刻(80分)				
履修内容	8	下顎第一小臼歯 彫	刻		デッ	サン1本	(10分)	左右2本	彫刻(80分)				
	9	オールソー			デッ ⁻	サン1本	(10分)	左右2本	:彫刻(80分)				
	10	下顎第二小臼歯 彫	刻		デッ	サン1本	(10分)	、左右2本	彫刻(80分)				
	11	下顎第一大臼歯 彫	刻		デッ	サン1本	(10分)	、左右2本	彫刻(80分)				
	12	下顎第二大臼歯 彫	刻		デッ	サン1本	(10分)	、左右2本	「彫刻(80分)				
	13	上1 上6 彫刻			デッ	サン2本	(20分)	模型なし	ンで彫刻2本(60分)	修正(10分)			
	14	上3 下6 彫刻			デッ	サン2本	(20分)	模型なし	ンで彫刻2本(60分)	修正(10分)			
	15	上4 下5 彫刻			デッ	サン2本	(20分)	模型なし	で彫刻2本(60分)	修正(10分)			

		T	
	16	上5 下4 彫刻	デッサン2本(20分) 模型なしで彫刻2本(60分) 修正(10分)
	17	上6 下6 彫刻	デッサン2本(20分) 模型なしで彫刻2本(60分) 修正(10分)
	18	上7 下3 彫刻	デッサン2本(20分) 模型なしで彫刻2本(60分) 修正(10分)
	19	上1 下4 彫刻	デッサン2本(20分) 模型なしで彫刻2本(60分) 修正(10分)
	20	上2 下5 彫刻	デッサン2本(20分) 模型なしで彫刻2本(60分) 修正(10分)
	21	上3 上6 彫刻	デッサン2本(20分) 模型なしで彫刻2本(60分) 修正(10分)
	22	上4 下3 彫刻	デッサン2本(20分) 模型なしで彫刻2本(60分) 修正(10分)
履修主題• 履修内容	23	上5 下4 彫刻	デッサン2本(20分) 模型なしで彫刻2本(60分) 修正(10分)
	24	上6 下5 彫刻	デッサン2本(20分) 模型なしで彫刻2本(60分) 修正(10分)
	25	上7 下6 彫刻	デッサン2本(20分) 模型なしで彫刻2本(60分) 修正(10分)
	26	上下顎右側 中切歯	デッサン2本(20分) 模型なしで彫刻2本(60分) 修正(10分)
	27	上下顎左側 犬歯	デッサン2本(20分) 模型なしで彫刻2本(60分) 修正(10分)
	28	上下顎右側 第一小臼歯	デッサン2本(20分) 模型なしで彫刻2本(60分) 修正(10分)
	29	上下顎左側 第二小臼歯	デッサン2本(20分) 模型なしで彫刻2本(60分) 修正(10分)
	30	上下顎右側 第一大臼歯	デッサン2本(20分) 模型なしで彫刻2本(60分) 修正(10分)

2023千皮	口口子园区深!	图件导门子仪	图件权工	一件		为 リ 和氏 1
授業科目	口腔解剖学実習Ⅱ	担当教員	田中	聖一	-	
(科目ID)	d29106	(実務経験)	有☑	無		歯科技工士として業務に従事し、当該科目の教育を行う。 別紙1参照
対象年次·学期	2年•通年	担当教員				
授業形態	実習	(実務経験)	有□	無		
		担当教員				
		(実務経験)	有□	無		
		担当教員				
		(実務経験)	有□	無		
		担当教員				
		(実務経験)	有□	無		
		担当教員				
		(実務経験)	有□	無		
		担当教員				
		(実務経験)	有□	無		
		担当教員				
		(実務経験)	有□	無		
		担当教員				
		(実務経験)	有□	無		
		担当教員				
		(実務経験)	有□	無		

吉田学園医療歯科専門学校

授業科目		有床義歯技工学	実習Ⅱ	担当教員				田中 聖一				
(科目ID)		d29202		(実務経験)	有☑	無		歯科技工士として業 う。 別紙1参照	務に従事し、当該科目の教育を行			
対象年次・学期	2年・前	前期		必修·選択区分	必修			単位数	3単位			
授業形態	実習			授業回数(1回90分)			45	時間数	90時間			
授業目的	有床翁	義歯における各々の装	置の特徴や製作方法	法を学ぶ。	•							
到達目標	各補綴	優物の特徴や適応症、	使用材料などを説明	月でき、適正に製作することか	ができる。 							
テキスト・参考図書等	最新雄	育科技工士教本 有床 霥	養歯技工学 (医歯薬	出版) 歯科技工実習 有床	養歯技工学	(歯科技	工学実習	トレーニング)				
		評価方法	評価割合(%)				評価基	準				
	試験		%									
評価方法・	レポー	· k	%									
評価基準	小テス		%	実習製作物によって評価を	する。							
	提出物	7	100%									
	その他	1	%									
履修上の 留意事項	教本を中心に進める。提出期日は厳守すること。メモを取りながら進めること。											
	回数		履修主題					履修内容				
	1	金属床義歯製作、模	型製作・外形線記入		金属床義歯	が特徴	模型製	乍 外形線記入				
	2	ブロックアウト・リリー	フ・複印象・耐火模型	型製作	ビーディング	ブ リリー	-フ ブロ _ツ	ックアウト 複印象 i	耐火模型製作 表面処理			
	3	ワックスアップ(練習月	用模型)		練習用模型	!でのワ	ックスアッ	プ 内側フィニッシュ	ライン部形成 支台装置部			
	4	ワックスアップ(練習月	用模型)		格子部形成	一蓋	部形成					
	5	ワックスアップ(本模型	뎉)		内側フィニッ	シュラ	イン部形成	t				
	6	ワックスアップ(本模型	뎉)		支台装置部	ß、格子 i	部形成					
履修主題•	7	ワックスアップ完成			口蓋部形成	表面	仕上げ					
履修内容	8	埋没			スプルー線	植立						
	9	鋳造・咬合器装着			高温鋳造お	よび上	下顎咬合	器装着				
	10	研磨			耐火模型材	および	酸化膜を	ナンドブラスターで防	法			
	11	研磨			スプルー線	切断 /	(リ除去	形態修正				
	12	研磨			中研磨							
	13	研磨			電解研磨							
	14	研磨			仕上げ研磨	洗浄						
	15	人工歯排列			上顎右側臼	歯部排	列					

	16	人工歯排列	上顎左側臼歯部排列					
	17	歯肉形成	パラフィンワックス盛り上げ 上顎右側頬側部形成					
	18	歯肉形成	上顎左側頬側部形成 口蓋部形成 表面仕上げ					
	19	埋没·重合	埋没 レジン塡入 重合					
	20	割り出し・研磨	割り出し 床縁部形態修正および粗研磨					
	21	研磨	中研磨					
	22	研磨	レーズ研磨					
	23	研磨	仕上げ研磨					
	24	研磨	最終研磨					
	25	完成	洗浄 完成					
	26	支台歯となる歯のクラウンと支台装置の製作、模型製作	模型製作					
	27	支台歯のワックスアップ	上顎左側第一小臼歯ワックスアップ					
	28	支台歯のワックスアップ	上顎左側第一小臼歯ワックスアップ完成 右側第二大臼歯ワックスアップ					
	29	支台歯のワックスアップ	右側第二大臼歯ワックスアップ完成					
履修主題•	30	支台歯のミリング	RPIクラスプ装着のためのミリング (ガイドプレーン レストアーム レストシート)					
履修内容	31	支台歯のミリング	エーカースクラスプ装着のためのミリング (ガイドプレーン レストシート)					
	32	埋没	埋没					
	33	鋳造・屈曲	鋳造 上顎右側犬歯コンビネーション(ワイヤー部屈曲)					
	34	研磨・支台歯の完成	研磨					
	35	耐火模型の製作(前準備)	リリーフ 外形線記入					
	36	耐火模型の製作	耐火材注入					
	37	各種支台装置のワックスアップ	RPIクラスプのワックスアップ					
	38	各種支台装置のワックスアップ	エーカースのワックスアップ					
	39	各種支台装置のワックスアップ 埋没	コンビネーションのワックスアップ スプルー線植立 埋没					
	40	鋳造	鋳造					
	41	研磨	粗研磨					
	42	研磨	中研磨					
	43	研磨	仕上げ研磨					
	44	研磨	仕上げ研磨					
	45	完成	洗浄 完成					

2023年度	古田字園医療	图科専門字校	图科技	工字	科		別刹	;1
授業科目	有床義歯技工学実習Ⅱ	担当教員	1	佐々木	英1	±		
(科目ID)	d29202	(実務経験)	有【	Z	無		歯科技工所で歯科技工士として主に歯冠修復部門や CAD/CAMなどに従事し、当該科目の教育を行う。 別紙1参照	
対象年次·学期	2年•前期	担当教員						
授業形態	実習	(実務経験)	有[無			
		担当教員						
		(実務経験)	有[]	無			
		担当教員						
		(実務経験)	有[]	無			
		担当教員						
		(実務経験)	有[]	無			
		担当教員						
		(実務経験)	有[]	無			
		担当教員						
		(実務経験)	有[]	無			
		担当教員						
		(実務経験)	有[]	無			
		担当教員						
		(実務経験)	有【		無			
		担当教員						
		(実務経験)	有[無			

선 ** 된 다		歯冠修復技工学	実習Ⅱ	担当教員					佐々木 英世		
授業科目 (科目ID)		d29202		(実務経験)	有	d	無			スエナとして主に歯冠修復部門や 事し、当該科目の教育を行う。	
対象年次・学期	2年•前			必修·選択区分	必修				単位数	3単位	
授業形態	実習			授業回数(1回90分)				45	時間数	90時間	
授業目的	基本刑	彡態にそって製作する た	どけでなく、咬合や著	琴美性などを考慮しながら機 能	能的な	:歯冠修	₹復物 <i>0</i>)製作を学	ి. స్.		
到達目標	各補総	優物の特徴や使用材料	、および製作方法な	どを説明でき、適正に製作っ	するこ	とがで	きる。				
テキスト・参考図書等	最新菌	函科技工士教本 歯冠傾	§復技工学 (医歯薬	出版) 歯科技工実習 歯冠	修復打	支工学	(歯科技	支工学実習	『 トレーニング)		
		評価方法	評価割合(%)					評価基	準		
	試験 96										
評価方法・	レポー	+	%								
評価基準	小テスト		%	実習製作物によって評価を	する。						
	提出物		100%								
	その他	<u>1</u>	%								
履修上の 留意事項	教本を	教本を中心に進める。提出期日は厳守すること。メモを取りながら進めること。									
	回数		履修主題						履修内容		
	1	部分被覆冠製作 模型	型製作		模型	製作					
	2	咬合器装着			トリミ	ング「	交合器	 接着			
	3	4/5冠 ワックスアップ	?	上顎左側第一小臼歯外形							
	4		"		上顎左側第一小臼歯咬合面						
	5	4/5冠 ワックスアップ	?		上顎左側第二大臼歯外形						
	6		"		上顎左側第二大臼歯咬合面						
履修主題•	7	埋没			スプノ	ルー線	植立	里没			
履修内容	8	鋳造			鋳造						
	9	研磨			上顎	左側第	一小巨	歯研磨			
	10	研磨			上顎	左側第	二大日	歯研磨			
	11	完成			完成						
	12	陶材焼付鋳造冠製作 	(上顎左側中切歯	i)、ワックスアップ 	概形	のワッ	クスアッ	プ			
	13	ワックスアップ			概形	のワッ	クスアッ	プ コア採	?得		
	14	窓開け			前装部窓開け						

	16	鋳造	鋳造						
	17	メタル調整	メタル調整						
	18	ディギャッシング	メタル調整・ディギャッシング						
	19	陶材築盛	オペーク築盛						
	20	陶材築盛	オペーク築盛						
	21	陶材築盛	サービカル・デンティン築盛						
	22	陶材築盛	エナメル・トランスルーセント築盛						
	23	形態修正	形態修正(切縁・豊隆)						
	24	形態修正	形態修正(細部)						
	25	グレーズ・研磨	グレーズ・メタル研磨						
	26	完成	完成						
	27	上顎前臼歯架工義歯製作、(上顎左側犬歯・第1小臼歯・第2小臼歯)、模型製作	模型製作						
	28	模型製作	トリミング 咬合器装着						
	29	上顎左側犬歯のワックスアップ	概形ワックスアップ						
履修主題•	30	上顎左側犬歯のワックスアップ	細部ワックスアップ						
履修内容	31	上顎左側第2小臼歯のワックスアップ	概形ワックスアップ						
	32	上顎左側第2小臼歯のワックスアップ	細部ワックスアップ						
	33	上顎左側第1小臼歯のワックスアップ	概形ワックスアップ						
	34	上顎左側第1小臼歯のワックスアップ	細部ワックスアップ コア採得						
	35	ポンティック基底面の形成	リッジラップ型形成						
	36	連結・窓開け	レジン前装部窓開け 連結						
	37	埋没	スプルー植立 維持付与 埋没						
	38	鋳造	鋳造						
	39	研磨	メタル粗研磨						
	40	硬質レジン築盛	オペーク サービカル築盛						
	41	硬質レジン築盛	デンティン築盛 インサイザル築盛						
	42	形態修正	形態修正(概形)						
	43	形態修正•研磨	形態修正(細部)						
	44	研磨	研磨						
	45	完成	完成						

授業科目	歯冠修復技工学実習Ⅱ	担当教員	倉光	,綾香	
(科目ID)	d29202	(実務経験)	有 🗹	無	歯科技工所で歯科技工士として主に歯冠修復部門や CAD/CAMなどに従事し、当該科目の教育を行う。 別紙1参照
対象年次•学期	2年·前期	担当教員			
授業形態	実習	(実務経験)	有□	無	
		担当教員			
		(実務経験)	有 🏻	無	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無	
		担当教員			
		(実務経験)	有 🏻	無	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無	

授業科目		矯正歯科技工	学実習	担当教員					倉光 綾香			
(科目ID)		d29205		(実務経験)	有	技工士として主に歯冠修復部門や 事し、当該科目の教育を行う。						
対象年次・学期	2年•前	立		必修·選択区分	必修				単位数	1単位		
授業形態	実習			授業回数(1回90分)				1	5 時間数	30時間		
授業目的	矯正菌	前科技工の基礎および	一般的な歯科矯正	装置の製作法を学ぶ。	•							
到達目標	矯正菌	耐料技工に用いられる	器械・器具と材料お	よび各種装置の特徴などにつ	いて	説明でる	き、円滑	骨に製作	することができる。			
テキスト・ 参考図書等		頭科技工士教本 矯正値 ∈のための歯科矯正学		出版)矯正歯科技工学 小! (医歯薬出版)	見歯科	技工学	(歯科	技工学実	ミ習トレーニング)			
		評価方法	評価割合(%)					評価基	基準			
	試験											
評価方法・	レポー	·ŀ	%									
評価基準	小テス	テスト 9% 実習製作物によって評価する。										
	提出物	D.	100%									
	その他	1	%									
履修上の 留意事項	教本、	教本、プリントなどを中心に進める。提出期日は厳守すること。メモを取りながら受講すること。										
	回数		履修主題						履修内容			
	1	舌側孤線装置製作		舌側	孤線装電	置の目	的·構成	・製作法・作業用	奠型完・バンドの適合			
	2	STロック鑞付		パンドとSTロックの仮着・自在鑞付・研磨								
	3	脚部屈曲			脚部	の屈曲						
	4	主線屈曲·鑞付			主線	の屈曲	主線。	上脚部の	鑞付			
	5	研磨・完成・提出			研磨・模型への適合確認							
	6	ホーレーの保定装置	製作 模型製作		ホー	レーの係	定装	置の目的	•構成•製作法•作業	業用模型完成		
履修主題•	7	接歯唇側線の屈曲			上顎	4前歯唇	側部と	犬歯ル-	ープ部の屈曲			
履修内容	8	接歯唇側線の屈曲			脚部	の屈曲						
	9	単純鉤屈曲			近心	頬側部	から遠	心歯頚部	までの屈曲			
	10	単純鉤屈曲			脚部	の屈曲						
	11	アダムスのクラスプ屈	曲		アダ.	ムスのク	ラスブ	の屈曲				
	12	レジン築盛			レジ	/重合前	〕準備、	ふりかけ	[†] 法および筆積み法	の築盛		
	13	研磨			形態	修正 粗	1研磨					
	14	研磨			中研	磨 レー	ズ研用	X				
	15	完成·提出			完成 模型への適合確認							

2020十度	口四于西庭派		M171X—7	-11-1	1 75% [-(1)
授業科目	矯正歯科技工学実習	担当教員	田中	聖一	
(科目ID)	d29205	(実務経験)	有 🗹	無	歯科技工士として業務に従事し、当該科目の教育を行う。 別紙1参照
対象年次•学期	2年・前期	担当教員			
授業形態	実習	(実務経験)	有 🏻	無	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無□	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無	
		担当教員			
		(実務経験)	有 🏻	無	
		担当教員			
		(実務経験)	有 🏻	無	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無	

		小児歯科技工学	学実習	担当教員									
授業科目 (科目ID)		d29206		(実務経験)	有【		無[歯科技工所で歯科技	エ士として主に歯冠修復部門や 『し、当該科目の教育を行う。			
対象年次·学期	2年•前	期		必修·選択区分	必修				単位数	1単位			
授業形態	実習			授業回数(1回90分)				15	時間数	30時間			
授業目的	顎顔面	「の成長発育、歯の形	態、咬合形態、機能	などその年齢それぞれの特殊	徴を把握し、小児に対して臨床で必要な技工操作を学ぶ。								
到達目標	小児の)特徴を理解し、代表的	りな装置の構成要素	や製作順序および製作法の	の注意点を理解し、製作できる。								
テキスト・ 参考図書等	最新達	南科技工士教本 小児歯	歯科技工学 (医歯薬	出版)矯正歯科技工学 小!	見歯科技	女工学 (菌	函科技	工学実	習トレーニング)				
		評価方法	評価割合(%)					評価基	準				
	試験		%										
評価方法・	レポー	۲	%										
評価基準	小テスト		%	実習製作物によって評価する	3.								
	提出物	Ū	100%										
	その他	1	%										
履修上の 留意事項	教本や	プリントなどにより進む	める。提出期日は厳	守すること。メモを取りながら	進めるこ	_ځ.							
	回数		履修主題						履修内容				
	1	クラウンループ保険装	長置製作 模型製作		装置の	目的 構	成お。	よび製作	法 模型製作 外刑	ジ線記入 リリーフ			
	2	乳歯用既製冠適合		乳歯冠適合									
	3	ループ屈曲		ループ屈曲									
	4	鑞付け		鑞付け前準備(埋没材固定) 鑞付け									
	5	研磨・完成・提出		研磨									
	6	可撤保隙装置製作	模型製作		装置の	目的 構	成お。	よび製作	法 模型 外形線記	己入 リリーフ			
履修主題•	7	唇側線屈曲			前歯部	屈曲							
履修内容	8	唇側線屈曲			ループ	部から脚	部の原	屈曲					
	9	単純鉤屈曲			単純鉤	屈曲							
	10	オクルーザルレスト屈	曲		オクルー	ーザルレ	スト屈	曲					
	11	人工歯排列			上下顎	人工歯排	非列						
	12	歯肉形成			歯肉形	成							
	13	コア採得・レジン添加	•削合		シリコー	ーンコア技	¥得 L	ノジン床	盛り上げ 咬合面肖	合			
	14	形態修正			レジンほ	末粗研磨	まで						
	15	研磨・完成・提出			研磨		研磨						

2023千皮	口口子园区深!	8件导门子仪	图件权工	一个十	万川 末氏 1
授業科目	小児歯科技工学実習	担当教員	田中	聖一	
(科目ID)	d29206	(実務経験)	有区	無	歯科技工士として業務に従事し、当該科目の教育を行う。 別紙1参照
対象年次•学期	2年-前期	担当教員			
授業形態	実習	(実務経験)	有□	無	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無	
		担当教員			
		(実務経験)	有□	無	

授業科目		歯科技工実	習	担当教員				佐々木 英世				
(科目ID)		d29207		(実務経験)	有 🗹	無			技工士として主に歯冠修復部門や 事し、当該科目の教育を行う。			
対象年次・学期	2年•通	殖 年		必修·選択区分	必修			単位数	8単位			
授業形態	実習			授業回数(1回90分)			120) 時間数	240時間			
授業目的	歯科技	支工に関する基礎的な	知識と技術をもとに	、臨床技工における新しい分	野を学ぶ。							
到達目標	臨床的	n模型を使い、より実践	的な技工ができる。	とともに、自分で考えながら製	- 関作することができる。							
テキスト・ 参考図書等	最新歯科技工士教本 歯科技工実習 (医歯薬出版)											
		評価方法	評価割合(%)				評価基	基準				
	試験		%									
評価方法・	レポー	·	%									
評価基準	小テスト		%	それぞれの提出物で評価す その他として全国歯科技工:		連絡協	議会が実力	施する実技評価試験	きを30%とする。			
	提出物 709											
	その他	1	30%									
履修上の 留意事項	臨床的	内模型実習は、担当要	員が作成する歯科技	支工指示書に基づいて行うこ	と。							
	回数 履修主題					履修内容						
	回数		履修主題					履修内容				
	回数	臨床的模型実習 アク		1	OPアンカ	ーアタッ	チメントの	履修内容 製作(下顎総義歯)	模型製作			
		臨床的模型実習 アク 臨床的模型実習 キー	タッチメントの製作				チメントの!	製作(下顎総義歯)	模型製作			
	1		タッチメントの製作 ーアンドキーウェイの	D製作 ①	作業用模	型作製(下顎左側:	製作(下顎総義歯)				
	1 2	臨床的模型実習 キー 臨床的模型実習 キー	タッチメントの製作 ーアンドキーウェイの ーアンドキーウェイの	D製作 ① D製作 ②	作業用模ワックスフポンティッ	型作製('ップ 下 ク(下顎;	下顎左側: 顎左側第 左側第一;	製作(下顎総義歯) ブリッジ) 二小臼歯 第二大臼				
	2	臨床的模型実習 キー 臨床的模型実習 キー ワックスアップ	タッチメントの製作 ーアンドキーウェイの ーアンドキーウェイの ーアンドキーウェイの	D製作 ① D製作 ② D製作 ③	作業用模ワックスフポンティッ	型作製('ップ 下 ク(下顎; (の設定)	下顎左側: 顎左側第 左側第一;	製作(下顎総義歯) ブリッジ) 二小臼歯 第二大臼	歯			
	1 2 3	臨床的模型実習 キー 臨床的模型実習 キー ワックスアップ 臨床的模型実習 キー 臨床的模型実習 キー 臨床的模型実習 アグ	タッチメントの製作 -アンドキーウェイの -アンドキーウェイの -アンドキーウェイの -アンドキーウェイの タッチメントの製作	D製作 ① D製作 ② D製作 ③	作業用模ワックスプポンティッキーウェ・蝋堤作製	型作製('ップ 下 ク(下顎 (の設定)	下顎左側等 気を側第一えペースと	製作(下顎総義歯) ブリッジ) 二小臼歯 第二大臼	イの挿入方向の決定			
履修主題•	1 2 3 4 5	臨床的模型実習 キー 臨床的模型実習 キー ワックスアップ 臨床的模型実習 キー 臨床的模型実習 アク 下顎総義歯の製作 臨床的模型実習 キー	タッチメントの製作 -アンドキーウェイの -アンドキーウェイの -アンドキーウェイの タッチメントの製作 -アンドキーウェイの	D製作 ① D製作 ② D製作 ③ 2 D製作 ④	作業用模ワックスフポンティッキーウェ・ 蝋堤作製ミリングマ	型作製(ップ 下 ク(下顎; クの設定:	下顎左側第一次ペースと	製作(下顎総義歯) ブリッジ) 二小臼歯 第二大臼 大臼歯) :キーアンドキーウェ	歯 イの挿入方向の決定 成			
履修主題・ 履修内容	1 2 3 4 5 6	臨床的模型実習 キー 臨床的模型実習 キー ワックスアップ 臨床的模型実習 キー 臨床的模型実習 キー 高床的模型実習 キー ミリング 臨床的模型実習 キー ミリング	タッチメントの製作 ーアンドキーウェイの ーアンドキーウェイの ーアンドキーウェイの タッチメントの製作 ーアンドキーウェイの ーアンドキーウェイの	D製作 ① D製作 ② D製作 ③ ② D製作 ④ D製作 ⑤	作業用模ワックスフポンティッキーウェ・ 蝋堤作製ミリングマ	型作製(ップ 下 ク(下顎) (の設定: シンでガ	下顎左側第一次ペースと	製作(下顎総義歯) ブリッジ) 二小臼歯 第二大巨大臼歯) キーアンドキーウェ ・ン、ボックス部の形	歯 イの挿入方向の決定 成			
	1 2 3 4 5 6 7	臨床的模型実習 キー 臨床的模型実習 キー では、の模型実習 キー では、の模型実習 キー では、の模型、といるでは、では、の模型、というでは、では、の模型、というでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	タッチメントの製作 ーアンドキーウェイの ーアンドキーウェイの ーアンドキーウェイの タッチメントの製作 ーアンドキーウェイの ーアンドキーウェイの	D製作 ① D製作 ② D製作 ③ ② D製作 ④ D製作 ⑤ 3	作業用模 ワックスフ ポンティッキーウェ・ 蝋堤作製 ミリングマ	型作製(ツプ 下 ク(下顎: (の設定: シンでガ	下顎左側等 無な 側第一 なん 一 スペースと	製作(下顎総義歯) ブリッジ) 二小臼歯 第二大臼歯)	歯 イの挿入方向の決定 成			
	1 2 3 4 5 6 7 8 9	臨床的模型実習 キー 臨床的模型実習 キー 切っクスアップ 第一 キー 臨床的模型実習 キー 臨床的模型実習 アクト では、の模型実習 キー ミリング 第一	タッチメントの製作 -アンドキーウェイの -アンドキーウェイの -アンドキーウェイの タッチメントの製作 -アンドキーウェイの タッチメントの製作 -アンドキーウェイの	D製作 ① D製作 ② D製作 ③ ② D製作 ④ D製作 ⑤ ③	作業用模 ワックスフ ポンティッキーウェー 蝋堤作製 ミリングマ グルーブ 蠟堤作製	型作製(ツプ 下 ク(下顎定 シンでガ の形成	下顎左側等 無な 側第一 なん 一 スペースと	製作(下顎総義歯) ブリッジ) 二小臼歯 第二大臼歯)	歯 イの挿入方向の決定 成			
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	臨床的模型実習 キー 臨床的模型実習 キー ではないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	タッチメントの製作 ーアンドキーウェイの ーアンドキーウェイの タッチメントの製作 ーアンドキーウェイの タッチメントの製作 ーアンドキーウェイの タッチメントの製作 ーアンドキーウェイの	D製作 ① D製作 ② D製作 ③ ② D製作 ④ D製作 ⑤ ③ D製作 ⑥	作業用模ワックスファイン・ ボンティッ・ 蝋堤作製ミリングマ グルーブ 蠟堤作製 メタルミリ	型作製(ツプ 下 ク(の設定) シンでガ の形成	下顎左側第一大人の一つフックスミ	製作(下顎総義歯) ブリッジ) 二小臼歯 第二大臼歯)	歯 イの挿入方向の決定 成			
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	臨床的模型実習 キー 臨床的模型実習 キー では、の模型実習 キー では、の模型実習 キー では、の模型実 要製作 には、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、ので	タッチメントの製作 ーアンドキーウェイの ーアンドキーウェイの タッチメントの製作 ーアンドキーウェイの タッチメントの製作 ーアンドキーウェイの タッチメントの製作 ーアンドキーウェイの タッチメントの製作 ーアンドキーウェイの	D製作 ① D製作 ② D製作 ③ ② D製作 ④ D製作 ⑤ ③ D製作 ⑥ ④ D製作 ⑦	作業用模ワックスファイン・ ボンティッ・ 蝋堤作製ミリングマ グルーブ 蠟堤作製 メタルミリ	型作製(ツプ 下 ク(の設定) シンでガ の形成	下顎左側第一大人の一つフックスミ	製作(下顎総義歯) ブリッジ) 二小臼歯 第二大日 大臼歯) :キーアンドキーウェ -ン、ボックス部の形 リングの仕上げ 埋;	歯 イの挿入方向の決定 成			
	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	臨床的模型実習 キー 臨床的模型実習 キー ウックスアップ 臨床的模型実習 キー 臨床的模型実 習 キー 臨床的模型 実 習 製作 臨床が模型 実 習 キー 理没・鋳模型 裏 習 ギー 理没・鋳模型 裏 習 キー 臨床的模型 実 習 キー	タッチメントの製作 ーアンドキーウェイの ーアンドキーウェイの タッチメントの製作 ーアンドキーウェイの タッチメントの製作 ーアンドキーウェイの タッチメントの製作 ーアンドキーウェイの ファンドキーウェイの ファンドキーウェイの	D製作 ① D製作 ② D製作 ③ ② D製作 ④ D製作 ⑤ ③ D製作 ⑥ ④ D製作 ⑥ D製作 ⑦ D製作 ⑦	作業用模ワックスファックスファックスファックスファックスファックスファット 蝋堤作 ダマック ルーブ 蠟堤作製 メタルミリ 人工歯排	型作製(ップ 下 ク(の設定) シンでが の形成 グ 列	下顎左側第一大人の一つフックスミ	製作(下顎総義歯) ブリッジ) 二小臼歯 第二大日 大臼歯) :キーアンドキーウェ -ン、ボックス部の形 リングの仕上げ 埋;	歯 イの挿入方向の決定 成			
	1 2 3 4 5 6 7 8 8 9 10 11 12 13	臨床的模型実習 キー 臨床的模型実習 キー 臨床的模型実習 キー 臨床的模型実習 キー 臨床的模型 実習 キー 臨床的模型 実 習 キー ミリング 臨床の 模型 実 習 キー 塩床の 模型 実 習 キー 臨床的模型 実 習 キー	タッチメントの製作 ーアンドキーウェイの ーアンドキーウェイの タッチメントの製作 ーアンドキーウェイの アンドキーウェイの マッチメントの製作 ーアンドキーウェイの マッチメントの製作 ーアンドキーウェイの マッチメントの製作 ーアンドキーウェイの マッチメントの製作 ーアンドキーウェイの	D製作 ① D製作 ② D製作 ③ ② D製作 ④ D製作 ⑤ ③ D製作 ⑥ ④ D製作 ⑥ D製作 ⑦ D製作 ⑦	作業用模ワックスフィックスフィット 蝋堤 リング ブックス リング ブック ブック ブック ブック ボー 一部 サイフ カー・ 単没	型作製(ップ 下 (つ) (つ) (つ) (つ) (つ) (つ) (つ) (つ)	下顎左側第一大人の一つフックスミ	製作(下顎総義歯) ブリッジ) 二小臼歯 第二大日 大臼歯) :キーアンドキーウェ -ン、ボックス部の形 リングの仕上げ 埋;	歯 イの挿入方向の決定 成			

	16	臨床的模型実習 分割コア ② ワックスアップ 埋没 鋳造	舌側根のダウエルピンの適合・調節 ワックスアップ 埋没					
	17	臨床的模型実習 分割コア ③ ワックスアップ 埋没 鋳造	分割ポスト部形態修正 ステップ形成 ワックスアップ 埋没					
	18	臨床的模型実習 アタッチメントの製作 ⑥	人工歯排列					
	19	臨床的模型実習 分割コア ④	適合確認 維持部形成 完成					
	20	顎口腔機能学 ① 歯の接触様式について	咬合様式 人工歯の削合 咬合小面					
	21	臨床的模型実習 アタッチメントの製作 ⑦	歯肉形成					
	22	顎口腔機能学 ② 全部床義歯による両側性平衡咬合の再現	選択削合					
	23	臨床的模型実習 アタッチメントの製作 ⑧	重合(流し込み) 研磨					
	24	顎口腔機能学 ③ 全部床義歯による両側性平衡咬合の再現	自動削合					
	25	臨床的模型実習 アタッチメントの製作 ⑨	研磨					
	26	顎口腔機能学 ④ 咬合器の機構と分類	半調節性咬合器(プロアーチⅡG)の各部の名称や取り扱い方					
	27	顎口腔機能学 ⑤ フェイスボウトランスファー	前方基準点 後方基準点					
	28	臨床的模型実習 アタッチメントの製作 ⑩	トリミング					
	29	顎口腔機能学 ⑥ フェイスボウトランスファー	フェイスボウ各部の名称と取り扱い方 フェイスボウトランスファー					
履修主題•	30	顎口腔機能学 ⑦ フェイスボウトランスファー 上顎模型装着	バイトフォーク上に上顎模型を適合 装着					
履修内容	31	臨床的模型実習 アタッチメントの製作 ⑪ メール部の製作	ワックスアップ メールパターンの取り付け 埋没					
	32	顎口腔機能学 ® フェイスボウトランスファー 咬合採得	下顎模型装着					
	33	顎口腔機能学 ⑨ フェイスボウトランスファー 下顎模型装着	装着部石膏調整 完了					
	34	臨床的模型実習 アタッチメントの製作 ⑰ メール部完成	研磨 メール部の完成					
	35	顎口腔機能学 ⑪ 顆路角の計測とまとめ	顆路角調整					
	36	臨床的模型実習 アタッチメントの製作 ③ フィメール部の製作	フィメールキャップの製作					
	37	臨床的模型実習 アタッチメントの製作 ① 完成	常温重合レジンで固定					
	38	臨床的模型実習	個別の模型における臨床的模型実習 最低15ポイント以上					
	39	臨床的模型実習	感修部門 部分被覆冠 全部被覆冠 テンポラリー (ファイバーコア ジャケット含む)					
	40	臨床的模型実習	有床部門 部分床義歯					
	41	臨床的模型実習	その他					
	42	臨床的模型実習	II .					
	43	臨床的模型実習	II .					
	44	臨床的模型実習	II .					
	45	臨床的模型実習	II .					

	46	臨床的模型実習	II .
	47	臨床的模型実習	"
	48	臨床的模型実習	II .
	49	臨床的模型実習	ıı .
	50	臨床的模型実習	ıı .
	51	臨床的模型実習	ıı .
	52	臨床的模型実習	II .
	53	臨床的模型実習	II .
	54	臨床的模型実習	II .
	55	臨床的模型実習	II .
	56	臨床的模型実習	II.
	57	臨床的模型実習	И
	58	臨床的模型実習	и
	59	臨床的模型実習	И
履修主題・	60	臨床的模型実習	И
履修内容	61	臨床的模型実習	и
	62	臨床的模型実習	n .
	63	臨床的模型実習	n
	64	臨床的模型実習	и
	65	臨床的模型実習	и
	66	臨床的模型実習	n .
	67	臨床的模型実習	n
	68	臨床的模型実習	и
	69	臨床的模型実習	n
	70	臨床的模型実習	и
	71	臨床的模型実習	и
	72	臨床的模型実習	и
	73	臨床的模型実習	II.
	74	臨床的模型実習	II.
	75	臨床的模型実習	n

	76	臨床的模型実習	ıı .					
	77	臨床的模型実習	ıı .					
	78	臨床的模型実習	ıı .					
	79	臨床的模型実習	II .					
	80	臨床的模型実習	II .					
	81	臨床的模型実習	II .					
	82	全部床義歯 排列	上下顎前歯部排列					
	83	全部床義歯 排列	上下顎臼歯部排列					
	84	全部床義歯 排列	排列完了 パラフィンワックス盛り上げ					
	85	全部床義歯 歯肉形成	上顎歯肉形成					
	86	全部床義歯 歯肉形成	下顎歯肉形成					
	87	全部金属冠ワックスアップ①	下顎右側第一大臼歯					
	88	蝋堤·カービング	蝋堤製作 カービング					
	89	蝋堤・カービング	蝋堤製作 カービング					
履修主題・	90	全部床義歯排列・歯肉形成①	2時間半で排列・歯肉形成(排列重視)					
履修内容	91	全部床義歯排列·歯肉形成①	ıı .					
	92	全部床修正	前日全部床修正					
	93	全部床修正	n .					
	94	蝋堤・カービング	蝋堤製作 カービング					
	95	全部床義歯排列·歯肉形成②	2時間半で排列・歯肉形成(排列重視)					
	96	全部床義歯排列·歯肉形成②	И					
	97	全部金属冠ワックスアップ②	下顎右側第一大臼歯					
	98	全部床修正	前日全部床修正					
	99	全部床修正	"					
	100	蝋堤・カービング	蝋堤製作 カービング					
	101	全部床義歯排列・歯肉形成③	2時間半で排列・歯肉形成(排列重視)					
	102	全部床義歯排列・歯肉形成③	"					
	103	全部金属冠ワックスアップ③	下顎右側第一大臼歯					
	104	全部床修正	前日全部床修正					
	105	蝋堤	蝋堤製作					

	106	全部床義歯排列・歯肉形成④	2時間半で排列・歯肉形成(歯肉形成重視)				
	107	全部床義歯排列・歯肉形成④	ıı .				
	108	全部金属冠ワックスアップ④	下顎右側第一大臼歯				
	109	全部床修正	2時間半で排列・歯肉形成(歯肉形成重視)				
	110	全部床修正	ıı .				
	111	蝋堤	蝋堤製作				
	112	全部床義歯排列·歯肉形成⑤	2時間半で排列・歯肉形成(歯肉形成重視)				
履修主題 · 履修内容	113	全部床義歯排列·歯肉形成⑤	n .				
	114	全部金属冠ワックスアップ⑤	下顎右側第一大臼歯				
	115	全部床修正	2時間半で排列・歯肉形成(歯肉形成重視)				
	116	全部床修正	n				
	117	蝋堤	蝋堤製作				
	118	全部床義歯排列・歯肉形成⑥	2時間半で排列・歯肉形成(歯肉形成重視)				
	119	全部床義歯排列・歯肉形成⑥	ıı				
	120	金属冠ワックスアップ⑥	下顎右側第一大臼歯				

2023年度	古田字園医療	图科専門字校	图科技工	字科		別紙1
授業科目	歯科技工実習	担当教員	田	中聖	_	
(科目ID)	d29207	(実務経験)	有 🗹	無		歯科技工所で歯科技工士として主に歯冠修復部門や CAD/CAMなどに従事し、当該科目の教育を行う。 別紙1参照
対象年次·学期	2年•通年	担当教員				
授業形態	実習	(実務経験)	有□	無		
		担当教員				
		(実務経験)	有□	無		
		担当教員				
		(実務経験)	有□	無		
		担当教員				
		(実務経験)	有□	無		
		担当教員				
		(実務経験)	有□	無		
		担当教員				
		(実務経験)	有□	無		
		担当教員				
		(実務経験)	有□	無		
		担当教員				
		(実務経験)	有口	無		
		担当教員				
		(実務経験)	有□	無		

吉田学園医療歯科専門学校

授業科目		CAD/CAN	1	担当教員	田中 聖一						
(科目ID)		d29106		(実務経験)	有☑	無		歯科技工士として業 う。 別紙1参照	務に従事し、当該科目の教育を行		
対象年次・学期	2年・追	直 年		必修·選択区分	必修			単位数	2単位		
授業形態	実習			授業回数(1回90分)			30	時間数	60時間		
授業目的	CAD/	CAMシステムを理解す	·る。								
到達目標	CAD/	CAMシステムでの利用	目可能な材料や分類	、メリット、構成要素などを学	び、設計を	習得する	5 .				
テキスト・ 参考図書等	最新的	剪科技工士教本 歯科抗	支工実習 (医歯薬出	版)							
		評価方法	評価割合(%)				評価基	準			
	試験		%								
評価方法・	レポー	-	%								
評価基準	小テスト		%	実習製作物によって評価する	る。						
	提出物		100%								
	その他 %										
履修上の 留意事項	材料を	合め取り扱いに留意で	する。								
	回数		履修主題					履修内容			
	1	CAD/CAMについて			概要 基本的製作手順						
	2	CAD/CAMについて			歴史 構成 材料						
	3	CAD/CAM 左上1	硬質レジン		スキャン						
	4	CAD/CAM 左上1	硬質レジン		デザイン						
	5	CAD/CAM 右上6	レジンクラウン		スキャン						
	6	CAD/CAM 右上6	レジンクラウン		デザイン						
履修主題•	7	CAD/CAM 左上1	硬質レジン		復習 応用						
履修内容	8	CAD/CAM 右上6	レジンクラウン		ıı .						
	9	CAD/CAM 左下6	単冠		デザイン						
	10	CAD/CAM 左上1	3 単冠		И						
	11	CAD/CAM 右上456	3 ブリッジ		n .						
	12	CAD/CAM 左上12	34 ブリッジ		n n						
	13	CAD/CAM 左下456	 3、ブリッジ		過去に製作した模型の中からデザイン						
	14	CAD/CAM 左下456	 3、ブリッジ		n n						
	15	CAD/CAM デザイン	_		左上1 硬質レジン ワックスの適合調整						

	16	CAD/CAM デザイン	ıı .					
	17	CAD/CAM デザイン	左上1 硬質レジン 埋没					
	18	CAD/CAM デザイン	左上1 硬質レジン 鋳造					
	19	CAD/CAM レジン冠	左上1 硬質レジン 適合調整					
	20	CAD/CAM レジン冠	左上1 硬質レジン 研磨					
	21	CAD/CAM レジン冠	硬質レジン築盛					
	22	CAD/CAM レジン冠	硬質レジン築盛					
履修主題· 履修内容	23	CAD/CAM レジン冠	硬質レジン築盛					
	24	CAD/CAM レジン冠	完成					
	25	CAD/CAM レジン冠	右上6 レジンクラウンの適合調整					
	26	CAD/CAM レジン冠	ıı					
	27	CAD/CAM レジン冠	右上6 レジンクラウンの研磨					
	28	CAD/CAM レジン冠	左上1 右上6 完成					
	29	3Dプリンター	デザイン					
	30	3Dプリンター	加工					

2023千段	口口子园区深	8件导门子仪	图件仅上	-5-17+		万]
授業科目	CAD/CAM	担当教員	佐々	木 英	世	
(科目ID)	d29106	(実務経験)	有 🗹	無		歯科技工所で歯科技工士として主に歯冠修復部門や CAD/CAMなどに従事し、当該科目の教育を行う。 別紙1参照
対象年次·学期	2年-通年	担当教員				
授業形態	実習	(実務経験)	有□	無		
		担当教員				
		(実務経験)	有□	無		
		担当教員				
		(実務経験)	有□	無		
		担当教員				
		(実務経験)	有□	無		
		担当教員				
		(実務経験)	有□	無		
		担当教員				
		(実務経験)	有□	無		
		担当教員				
		(実務経験)	有□	無		
		担当教員				
		(実務経験)	有□	無		
		担当教員				
		(実務経験)	有□	無		

授業科目	顎顔面補綴			担当教員	西川 圭吾						
(科目ID)		d29106		(実務経験)	有		無		歯科技工所で歯科 を行う。 別紙1参	技工士として従事し、当該科目の教育 照	
対象年次•学期	2年・後			必修·選択区分	必修				単位数	1単位	
授業形態	実習			授業回数(1回90分)				15	時間数	30時間	
授業目的	口腔颚	頁顔面領域の特徴や多	るチーム医療を知る。								
到達目標	顎顔硉	面補綴の意義やと目的	、製作法を習得する。								
テキスト・ 参考図書等	最新歯科技工士教本 歯科技工実習 (医歯薬出版) 口腔·顎顔面技工学 「				腔顎閬	頁面技习	実習値	長			
		評価方法	評価割合(%)								
	試験		%	6							
評価方法・ 評価基準	レポー		%								
	小テス	!	%	実習製作物によって評価する	ప 。						
	提出物		100%								
	その他 %										
履修上の 留意事項	教本な	ょどを中心に進める。 扱	- 昆出期限を厳守する	こと。最先端分野であり材料:	を含め	取り扱い	ハに留言	意すること	Ł .		
	回数		履修主題		履修内容						
	1	口腔外科技工とは		口腔外科手術全般							
	2	顎顔面補綴とは			歴史 材料 製作方法 エピテーゼとは」						
	3	義眼			位置調整など						
	4	ワックスエピテーゼ			ワックスアップ 貼り付け						
	5	ワックスエピテーゼ			ワックスアップ 盛り上げ 彫刻						
	6	ワックスエピテーゼ			ワックスアップ 盛り上げ 彫刻						
履修主題•	7	ワックスエピテーゼ			ワックスアップ 表面テクスチャー付与						
履修内容	8	ワックスエピテーゼ			u						
	9	エピテーゼ専用シリコ	ーン填入		石膏コア						
	10	内部着色			内部制	 					
	11	エピテーゼ専用シリコ	ーン填入		シリコーン填入						
	12	外部着色			外部制	 手色					
	13	植毛			植毛						
	14	調整			調整						
	15	完成			まとめ(使用方法 メンテナンス リコール時対応など)						

023千戌	口口子因区深	图件导门子仪	图件权	(14		为1 和1
授業科目	顎顔面補綴	担当教員		松下	和裕	ş	
(科目ID)	d29106	(実務経験)	有	Z	無		大学病院で歯科医師として幅広い分野に従事し、当該科 目の教育を行う。
対象年次•学期	2年·後期	担当教員	1	佐々木	英	世	
授業形態	実習	(実務経験)	有	Z	無		歯科技工所で歯科技工士として主に歯冠修復部門や CAD/CAMなどに従事し、当該科目の教育を行う。 別紙1参照
		担当教員		倉光	綾耆	ŝ	
		(実務経験)	有	Z	無		歯科技工所で歯科技工士として主に歯冠修復部門や CAD/CAMなどに従事し、当該科目の教育を行う。 別紙1参照
		担当教員					
		(実務経験)	有【		無		
		担当教員					
		(実務経験)	有【		無		
		担当教員					
		(実務経験)	有【]	無		
		担当教員					
		(実務経験)	有【		無		
		担当教員					
		(実務経験)	有【]	無		
		担当教員					
		(実務経験)	有【]	無		
		担当教員					
		(実務経験)	有【		無		

吉田学園医療歯科専門学校

授業科目	総合歯科技工学実習Ⅱ			担当教員		田中 聖一							
(科目ID)	d29207			(実務経験)	1		無		歯科技工士として業 う。 別紙1参照	務に従事し、当該科目の教育を行			
対象年次・学期	2年•通	2年・通年		必修·選択区分	必修	§			単位数	7単位			
授業形態	実習	実習		授業回数(1回90分)				115	5 時間数	230時間			
授業目的	自主製作により、自主性を養う。また、自分の口			腔内を理解する。									
到達目標	総合的	りな実習により、知識・	に適用する。										
テキスト・ 参考図書等	最新歯科技工士教本 歯科技工実習 (医歯薬出版)												
		評価方法	評価割合(%)		評価基準								
	試験		%										
評価方法・	レポー	· k	%										
評価基準	小テスト		%	実習製作物によって評価する。									
	提出物		100%										
	その他		%										
履修上の 留意事項	教本な	などを中心に進める。 摂 コンテストの受賞選考	出期限を厳守する にあたっては授業®	こと。テクニカルコンテストは、 寺間内で完成したもののみを	、出品対象	品作品で とする。	あり、村	オ料を含め り模型実習	かた完成時までのス 習は歯科技工指示書	ケジュール表を事前に提出。(テク 『に基づいて行うこと。			
	回数		履修主題						履修内容				
	1 学校祭出品作品製作		:	個々の製作物決定 スケジュール表作成									
	2	学校祭出品作品製作		模型作製									
	3 学校祭出品作品製作				ıı .								
	4	学校祭出品作品製作		製作									
	5	学校祭出品作品製作	:		п								
	6	学校祭出品作品製作	:		ıı .								
履修主題•	7	学校祭出品作品製作	ī		n .								
履修内容	8	学校祭出品作品製作	:		II .								
	9	学校祭出品作品製作	:		II .								
	10	学校祭出品作品製作	:		"								
	11	学校祭出品作品製作	:		n .								
	12	学校祭出品作品製作			ıı .								
	13	学校祭出品作品製作			II .								
	14	学校祭出品作品製作		_	II .								
	15 学校祭出品作品製作				-	п							

	16	学校祭出品作品製作	制作					
	17	学校祭出品作品製作	II					
	18	学校祭出品作品製作	II					
	19	学校祭出品作品製作	II					
	20	学校祭出品作品製作	II					
	21	学校祭出品作品製作	II .					
	22	学校祭出品作品製作	II .					
	23	学校祭出品作品製作	II					
	24	学校祭出品作品製作	n .					
	25	学校祭出品作品製作	II					
	26	学校祭出品作品製作	n .					
	27	学校祭出品作品製作	n .					
	28	学校祭出品作品製作	ıı					
	29	学校祭出品作品製作	n .					
履修主題•	30	学校祭出品作品製作	II					
履修内容	31	学校祭出品作品製作	п					
	32	学校祭出品作品製作	п					
	33	学校祭出品作品製作	n					
	34	学校祭出品作品製作	完成					
	35	マウスガード	自分の模型を使用しマウスガードの製作 模型調整					
	36	マウスガード	外形線記入 ブロックアウト					
	37	平行模型	自分の模型を使用し平行模型製作 模型調整					
	38	マウスガード	分離塗布 シート軟化圧接 撤去 切り出し					
	39	マウスガード	辺縁調整 研磨					
	40	平行模型	上顎基底面高さ調整					
	41	個性的排列	自分の模型を使用し自分と同様の個性的前歯部排列歯肉形成を再現する。 模型修正(上顎前歯歯槽部削除)					
	42	個性的排列	人工歯の個性的性状付与 排列					
	43	平行模型	上顎基底面高さ調整 上顎模型台付け					
	44	平行模型	下顎基底面高さ調整					
	45	平行模型	下顎基底面高さ調整 下顎模型台付け					

	46	個性的排列	人工歯の個性的性状付与 排列					
	47	平行模型	後縁の調整 各面のトリミング(トリマー)					
	48	平行模型	歯肉頬移行部のトリミング(カーバイドバー)					
	49	個性的排列	人工歯の個性的性状付与 排列					
	50	平行模型	歯肉類移行部のトリミング(パーパーコーン)					
	51	平行模型	ソーピング 完成					
	52	個性的排列	人工歯の個性的性状付与 排列					
	53	個性的排列	歯肉形成					
	54	個性的排列	歯肉形成					
	55	個性的排列	埋没					
	56	個性的排列	レジン塡入					
	57	個性的排列	割り出し 辺縁部修正 表面処理					
	58	総合実習	臨床的模型で製作					
	59	総合実習	デッサン カービング ワイヤー屈曲など					
履修主題•	60	総合実習 ①	デッサン カービング ワイヤー屈曲					
履修内容	61	総合実習	II .					
	62	総合実習	臨床的模型で製作					
	63	総合実習	II .					
	64	総合実習	復習					
	65	総合実習 ②	デッサン カービング ワイヤー屈曲					
	66	総合実習	II .					
	67	総合実習	復習					
	68	総合実習	臨床的模型で製作					
	69	総合実習	ıı					
	70	総合実習	デッサン カービング ワイヤー屈曲など					
	71	総合実習 ③	デッサン カービング ワイヤー屈曲					
	72	総合実習	II					
	73	総合実習	復習					
	74	総合実習	臨床的模型で製作					
	75	総合実習	ıı					

		40 A c+ 777						
	76	総合実習	デッサン カービング ワイヤー屈曲など					
	77	総合実習 ④	デッサン カービング ワイヤー屈曲					
	78	総合実習	n .					
	79	総合実習	復習					
	80	総合実習	臨床的模型で製作					
	81	総合実習	II					
	82	総合実習	デッサン カービング ワイヤー屈曲など					
	83	総合実習 ⑤	デッサン カービング ワイヤー屈曲					
	84	総合実習	ıı					
	85	総合実習	復習					
	86	総合実習	臨床的模型で製作					
	87	総合実習	ıı .					
	88	総合実習	デッサン カービング ワイヤー屈曲など					
	89	総合実習 ⑥	デッサン カービング ワイヤー屈曲 					
履修主題•	90	総合実習	II .					
履修内容	91	総合実習	復習					
	92	総合実習	臨床的模型で製作					
	93	総合実習	n .					
	94	総合実習	デッサン カービング ワイヤー屈曲など					
	95	総合実習 ⑦	デッサン カービング ワイヤー屈曲					
	96	総合実習	II .					
	97	総合実習	復習					
	98	総合実習	臨床的模型で製作					
	99	総合実習	II					
	100	総合実習	デッサン カービング ワイヤー屈曲など					
	101	総合実習 ⑧	デッサン カービング ワイヤー屈曲					
	102	総合実習	n					
	103	総合実習	復習					
	104	総合実習	臨床的模型で製作					
	105	総合実習	п					

	106	総合実習	デッサン カービング ワイヤー屈曲など					
	107	総合実習 ⑨	デッサン カービング ワイヤー屈曲					
	108	総合実習	ıı .					
	109	総合実習	復習					
履修主題•	110	総合実習	臨床的模型で製作					
履修内容	111	総合実習	II					
	112	総合実習	デッサン カービング ワイヤー屈曲など					
	113	総合実習 ⑩	デッサン カービング ワイヤー屈曲					
	114	総合実習	ıı .					
	115	総合実習	復習					

					-	
授業科目	総合歯科技工学実習Ⅱ	担当教員	佐	々木	英世	
(科目ID)	d29207	(実務経験)	有☑	#	# 🗆	歯科技工所で歯科技工士として主に歯冠修復部門や CAD/CAMなどに従事し、当該科目の教育を行う。 別紙1参照
対象年次•学期	2年•通年	担当教員				
授業形態	実習	(実務経験)	有□	#	# \square	
		担当教員				
		(実務経験)	有□	4	# 🗆	
		担当教員				
		(実務経験)	有□	4	# \square	
		担当教員				
		(実務経験)	有□	4	# \square	
		担当教員				
		(実務経験)	有□	#	# \square	
		担当教員				
		(実務経験)	有□	#	# 🗆	
		担当教員				
		(実務経験)	有□	4	# \square	
		担当教員				
		(実務経験)	有□	4	# 🗆	
		担当教員	_			
		(実務経験)	有□	#	# 🗆	

吉田学園医療歯科専門学校

	卒業研究			担当教員							
授業科目 (科目ID)	d29213			(実務経験)	有 🗹	歯科技工所で歯科技工士として主に歯冠 有 ☑ 無 ☐ CAD/CAMなどに従事し、当該科目の教刊 別紙・参照					
対象年次·学期	月 2年·前期 必修·選択区分			必修			単位数	1単位			
授業形態	演習			授業回数(1回90分)			15	時間数	30時間		
授業目的	各々テーマを決め専門分野の中から製作した作			品について自ら学び研究する	5.						
到達目標	装置な明する		た症・禁忌症、材料な	とどについて研究し、理論と実	践を結び付	けて理	解できる能	と技術力を磨き、	パワーポイントを使用しながら説		
テキスト・参考図書等	最新歯科技工士教本 歯科技工実習 (医歯薬出版) 他										
		評価方法	評価割合(%)		評価基準						
評価方法・ 評価基準	試験		%								
	レポート		%								
	小テスト		%	パワーポイント作成(60%)、	発表(30%)	、取組	姿勢(10%)によって総合的に	評価する。		
	提出物		%								
	その他 100%										
履修上の 留意事項	歯科技	な工実習の中で製作し	た自己課題の製作達	進度に合わせながらパワーオ	イントの製作	fを進 <i>め</i>	る。、デー	-タなどの自己管理を	をきちんと行うこと。		
	回数		履修主題					履修内容			
	1 パワーポイント項目				パワーポイント発表を20分として、スライド項目決定						
	2 パワーポイントタイトル				スライド タイトル入力						
	3 スライド作成										
	Ŭ	スライド作成			製作理由						
		スライド作成スライド作成			製作理由						
						忌症∙利	点·欠点				
	4	スライド作成			装置説明	忌症•利	点·欠点				
啰修 主題•	4	スライド作成スライド作成			装置説明 適応症・禁	忌症・利	点·欠点				
履修主題・ 履修内容	4 5 6	スライド作成スライド作成スライド作成スライド作成			装置説明適応症・禁ル材料・器具	忌症・利	点・欠点				
	4 5 6 7 8	スライド作成 スライド作成 スライド作成 スライド作成			装置説明 適応症・禁 材料・器具 製作方法	忌症•利	点·欠点				
	4 5 6 7 8	スライド作成 スライド作成 スライド作成 スライド作成 スライド作成			装置説明 適応症・禁 材料・器具 製作方法 製作手順	忌症・利	点·欠点				
	4 5 6 7 8 9	スライド作成 スライド作成 スライド作成 スライド作成 スライド作成 スライド作成			装置説明 適応症・禁 材料・器具 製作方法 製作手順 製作過程						
	4 5 6 7 8 9 10 111	スライド作成 スライド作成 スライド作成 スライド作成 スライド作成 スライド作成 スライド作成 スライド作成			装置説明 適応症·禁 材料·器具 製作方法 製作手順 製作過程						
	4 5 6 7 8 9 10 11	スライド作成			装置説明 適応症·禁 材料·器具 製作方法 製作手順 製作過程 参考文献·						
	4 5 6 7 8 9 10 11 12	スライド作成			装置説明 適応症·禁 材料·器具 製作方法 製作過程 製作過程						

2023年及	口口子园区东	封件导门于仪	图作:	又上子	-14		万川 祚氏 [
授業科目	卒業研究	担当教員		田中	聖-	-	
(科目ID)	d29213	(実務経験)	有		無		歯科技工所で歯科技工士として主に歯冠修復部門や CAD/CAMなどに従事し、当該科目の教育を行う。 別紙1参照
対象年次・学期	2年•前期	担当教員					
授業形態	演習	(実務経験)	有		無		
		担当教員					
		(実務経験)	有		無		
		担当教員					
		(実務経験)	有		無		
		担当教員					
		(実務経験)	有		無		
		担当教員					
		(実務経験)	有		無		
		担当教員					
		(実務経験)	有		無		
		担当教員					
		(実務経験)	有		無		
		担当教員					
		(実務経験)	有		無		
		担当教員					
		(実務経験)	有		無		